

平成 26 年度福井県計画に関する 事後評価

平成 29 年 8 月
福井県

3. 事業の実施状況

平成26年度福井県計画に規定した事業について、平成26年度計画終了時における事業の実施状況を記載。

事業の区分	1. 医療機能の分化・連携に関する事業	
事業名	【NO. 1】 地域包括ケア病院整備事業	【総事業費】 2,470,524 千円
事業の対象となる区域	福井・坂井区域、奥越区域、嶺南区域	
事業の期間	平成 26 年 12 月～平成 29 年 3 月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	回復期を担う病床の整備 H28：118 床 在宅医療利用者数 H24：4,000 人 → H29：4,800 人	
事業の達成状況	回復期を担う病床の整備 H28:104 床 在宅医療利用者数 H26：4,426 人 → H28: 5, 0 9 3 人	
事業の有効性・効率性	<p>(1) 事業の有効性 福井大学医学部附属病院や県立病院等の急性期を経過した回復期の患者を受け入れるための病棟整備や、療養病床等の削減と在宅療養患者の急変時の受入れ体制の整備が一定程度進んだ。</p> <p>(2) 事業の効率性 病院の建替えに併せ、効率よく回復期病棟等の整備を進めることができた。</p>	
その他	病床の転換にあたり、1床あたりの補助単価（建替えの場合 67 万円/1床）を医療機関に示したため、各病院が転換に係るシミュレーションを行うことが可能となった。	

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業	
事業名	【NO. 5】 かかりつけ医の普及定着推進事業	【総事業費】 2,187 千円
事業の対象となる区域	福井・坂井区域、奥越区域、丹南区域、嶺南区域	
事業の期間	平成 27 年 4 月～平成 29 年 3 月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	郡市医師会を対象とした説明会数 1 回/郡市医師会以上 中核病院を対象とした研修会 4 回以上	
事業の達成状況	郡市医師会を対象とした説明会数 延べ 10 回 中核病院を対象とした研修会 3 回 かかりつけ医普及のためのチラシ 7 万部作成	
事業の有効性と効率性	<p>(1) 事業の有効性</p> <p>地域医療構想の実現のためには、かかりつけ医の普及やふくいメディカルネットの活用等の県民理解が重要である。平成 27 年度は、まず患者と接する医師に対し説明会を開催することにより、ふくいメディカルネットの登録患者数の増加につながっている。</p> <p>(2) 事業の効率性</p> <p>県医師会に事業を委託することにより、医師会の既存の会議など様々な機会を活用し、地域医療構想を普及することができた。</p>	
その他		

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO. 8】 医師確保研修資金貸与事業	【総事業費】 14,400 千円
事業の対象となる区域	福井・坂井区域、奥越区域、丹南区域、嶺南区域	
事業の期間	平成 26 年 12 月～平成 29 年 3 月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	当事業により資金を貸与した医学生・臨床研修医数 H28：5 人	
事業の達成状況	当事業により資金を貸与した医学生・臨床研修医数 H28：5 人	
事業の有効性と効率性	<p>(1) 事業の有効性 奨学金の貸与条例を改正した。県内での勤務を 3 年間義務づけるメニューを追加することにより、健康推進枠の奨学生に加え、さらなる医師確保ができた。</p> <p>(2) 事業の効率性 地域枠の奨学金貸与生が地域医療に本格的に勤務するまで数年の期間を要する。医学部の 5、6 年生に貸与することにより、早期に地域医療に従事する医師を確保することが可能となった。</p>	
その他		